

令和 8 年度都立飛鳥高校（定時制）における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
日本語	・中級レベルの力をもつ生徒の割合を増やす指導の充実	・「日本語Ⅰ」「日本語Ⅱ」「日本語Ⅲ」において初級から中級レベルの指導を行う。「日本語Ⅰ」と「日本語Ⅱ」では、習熟度別授業も実施 ・全ての講座において、それぞれ日本語指導資格をもった特別専門講師等や日本語指導コーディネーターによる指導を実施	・放課後の補習による、日本語力の向上を目指す指導や日本語能力試験に向けての受験指導
国語	・日常生活で必要とされる国語力・進路実現のために必要な国語力の充実	・各科目・単元において小テスト、ワークシートを用い基礎学力の定着を図る。 ・生徒から出る質問を丁寧に取り上げ、興味関心を高める。	・現代の国語、国語表現でスピーチ、ディベート、プレゼンテーションの方法を学ぶ。
数学	・数学の基礎内容の指導の充実 ・日本語を母語としない生徒に寄り添った指導の実施	・演習の時間を設け、習熟度に合った課題を用意し丁寧な個別の指導を行う。 ・漢字に対して「ふりがな」を付け、説明を行う。	・ICT機器等を用いた学び合いの活動の中で、生徒同士の考えを共有する機会を設ける。 ・優しい日本語を用いた、丁寧な説明を行う。
英語	・基礎から応用的な英語までの指導	・基礎的な力をつけることを重視したオリジナルプリントによる指導 ・学校設定科目「Joyful English」「上級英語」による基礎的な力をつける授業から、応用的な学習の授業の設置	・放課後の補習による実用英語技能検定に向けての受験指導